

## ●市出資法人調査特別委員会とは？●

地方自治法第221条第3項に規定する法人の経営状況の調査を行い、各法人が定款などに定められた目的に沿って運営されているかどうかの検証を目的とした特別委員会で、平成26年6月24日の本会議で設置されました。

13法人から参考人を招き、平成25年度決算を中心に調査を行い、平成26年第4回定例会本会議初日に、委員長から調査結果が報告されましたので、その中から抜粋してご紹介します。



## 議会だより

### 市出資法人調査特別委員会 調査結果報告

議会の情報は下関市の  
ホームページから

<http://www.city.shimonoseki.lg.jp/>

#### 一般財団法人 下関市公営施設管理公社

委員から、満珠荘について、市との基本協定や受託契約の変更を行ったものの、赤字が解消されるまでには至っていないことから、抜本的にどのように改善するのかとの質疑がありました。参考人からは、これまでも経費削減に取り組んでおり、さらには、なかなか難しいところがある。今後は売上増のために手を打つ予定で、まず市民に対し、セールスポイントなどのPRに力を入れていきたいとの答弁がありました。

公社の嘱託職員の中には、一定の能力を持った方がいるので、有能な人材をとどめておくための方策が必要ではないかとの意見がありました。

#### 公益財団法人 下関市文化振興財団

平成25年は、入場料の収入などの取り扱いに不適切な処理があり、市からの補助金を返還したことから、その要因について、委員から質疑がありました。参考人からは、補助金をゼロ精算するという慣習的な部分

や市側の補助金交付要綱自体にも不備があったため、平成26年4月1日の会計処理から新しい要綱に基づき処理されていることが明らかにされ、委員から今後とも適切な処理をしてほしいとの要望がありました。

#### 公益財団法人 下関海洋科学 アカデミー

海響館のリピーターになつてもらうために、サポーターズクラブの会員になつてもらうことが大事であるとの考えから、委員から、来館者の増加策について質疑がありました。参考人からは、海響館のオープンから14・15年が経過し、小学生などは学習教育で来館しているものの、特に昼間に仕事をしている男性の中には、海響館に来たことがない方が多数いると思われるとの認識が示されました。

これに対して、委員から、今後、市民に来館してもらおうためのPRなども検討されたいとの要望があり、市内在住者には入場料のさらなる割引を検討してみてもどうかとの意見がありました。

#### 菊川町まぢづくり株式会社

委員から、道の駅「きくがわ」の2階が有効利用されていないという点について質疑がありました。参考人からは、和室であること、階段で上る必要があることなどが大きな要因であると捉えているとの答弁がありました。

これに対して、委員から、2階

▼海響館サポーターズクラブ会員証



の活用方法が決定したら、バリアフリー化という観点からエレベーターの導入も含めて検討する必要があるのではないかとこの意見がありました。

### 株式会社 豊田ふるさとセンター

参考人から、開業以来、初めて決算で純損失を計上したとの報告がなされ、委員からその改善策について質疑がありました。参考人からは、光熱水費を見直すため、平成25年の委員会でも指摘された光熱水費の「省エネ診断」を行っていることが明らかにされたところ、委員から、「省エネ診断」に着手していることは評価できるが、その取り組みが逆に客に不快感を与えないよう節度ある対応をお願いしたいとの要望がありました。

### 一般財団法人 豊田湖畔公園管理財団

平成25年度の利用者、収入ともに増加したことを受け、委員から、平成24・25年の委員会でホームページを活用した宣伝活動を提案したところ、的確に対応した点を

評価するとともに、利用者増加に向けた平成26年度の考え方について質疑がありました。参考人からは、平成25年からスポーツ合宿を行う県外の団体へ補助制度があることを案内しており、実際に補助制度を利用した団体は大変喜んでいました。今後この補助制度を含めPRし、施設利用を促していきたいとの考えが示されました。さらに、委員から、継続的に利用してもらえよう、ダイレクトメールを送るなど接点を持つてほしいとの要望がありました。

### 有限会社 豊田めぐりサービス

平成25年の委員会では、平成24年度決算で1100万円の損失を出すという厳しい状況から事業の停止も検討すべきであるとの意見もありましたが、参考人から、大幅な経費削減と売上高の増加に努めた結果、平成25年度決算では200万円弱の純利益を出したとの報告がありました。委員からは、今後も手綱を緩めることなく経営にあたってほしいとの意見がある一方で、平成26年度の事業計画を見る限り、計画そのものとしては非常に乏しい内容であると言わざるを得ないとの意見もありました。

### 一般社団法人 豊浦産業振興事業団

参考人から、平成25年度は農林水産物の直売所の増設やファミリー農園の開設、イチゴ狩りなどのあっせんなど、さまざまな努力の結果、若干ではあるものの単年度黒字を計上したとの報告がありました。これに対し、委員から、平成24・25年と委員会で厳しい意見を述べているが、その中で実績を残したことに敬意を表すとともに、これに満足することなくさらに努力していただきたいとの要望がありました。

### 下関市土地開発公社

参考人から、豊東西住宅団地について平成25年度の販売がおおむね好調であったとの報告がなされたところ、委員から、依然として売れ残っている区画もあるが、最近旧4町出身で旧下関市内在住者が実家の近くに帰るため家を建てるケースもあるので、今後は旧下関市内も含めたPRに努めてほしいとの要望がありました。委員から、豊東工業団地について、平成25年の委員会では対象業

種の企業を誘致しやすいよう用途制限の緩和を市にお願いしているとのことであったが、前に進んでいないように思われる。具体的に緩和策を示さないと何も進まないのでは、今後、研究を行ってほしいとの要望がありました。

### 公益財団法人 下関市水道サービス公社

委員から、小規模貯水槽水道管理指導業務について、平成24・25年の委員会でも議論があったが、業務を見直す時期に来ているのではないのかとの質疑がありました。参考人からは、貯水槽を維持管理してもらうための指導や意識の啓発を行うというのが業務の趣旨であり、貯水槽があるビルが存在する限り、業務を行う意義があると認識が示されました。これに対し、委員から、貯水槽の維持管理は施設管理者本人の判断によるところが大きい、当委員会での議論も踏まえ、少し踏み込んだ形で事業計画に位置付け、その成果が直結給水数の増加であるならば、それも明確に位置付けてほしいとの要望がありました。

### 地方独立行政法人 下関市立市民病院

委員から、平成25年度決算の多額の未収金について質疑があり、参考人から、一生懸命回収に努めていきたいとの考えが示されました。これに対し、委員から、市税でも未収金回収に非常に力を入れているので、同様にしっかりと行ってほしいとの要望がありました。さらに委員から、7対1看護体制の導入による収益面などについて質疑があり、参考人から、収益は一定の効果が出てきているが、看護師の勤務状況には厳しい面があるとの報告がありました。これに対し、委員から、働き手にとって魅力ある病院にするとともに、今後もこの体制を維持するため、看護師確保にさらに努力してほしいとの要望がありました。

市立市民病院

